



天草

市政だより

日本の宝島 天草の創造を目ざして！

謹賀新年

平成24年

1.1

No.138



釣れたよ!! “めでタイ”ね!

12月3・4日、牛深町の牛深ハイヤ大橋横の芝生広場一帯で、「第22回牛深あかね市」が開かれ多くの来場者でにぎわいました。最大の呼び物である“あかねタイ釣り大会”には、家族連れなど約4,000人が参加。特設のいけすで泳いでいるタイを釣り上げるたびに、歓声が上がっていました（10ページに関連記事）。

主な内容

- 新年あいさつ 2～3
- 辰^{たつ}年生まれ大集合！
 新年の抱負 4～5
- 牛深港が“みなとオアシス”に！ 6
- 天草マラソン大会 7
- ふるさと応援寄附金 8
- 宝島のわだい 9～13
- みんなの広場など 14～17

迎春



持続可能な天草市の構築に向けて

天草市長
安田 公寛

新年おめでとうございます。市民の皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。さて、昨年は、九州地域の念願であった九州新幹線の全線開通が実現しましたが、開業直前の3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震は、これに伴って発生した巨大津波により、東北地方の太平洋沿岸部を中心に壊滅的な被害を与えました。この大震災は、国や自治体、そして私たちの防災意識に大きな変化を与え、とともに、防災やエネルギー

問題など多くの課題を提起しました。私たちは、これらの課題について、中長期的な視野に立つて解決策を検討し、実行していく必要があります。このような中、本市は、合併特例期間10年の後半に入りました。残りの期間は、学校規模適正化に伴う小・中学校の建設、市営体育館や本庁舎の建設などの大規模な事業に取り組みながら、将来にわたって持続可能な天草市を構築していかなければなりません。そのために、行財政改革の徹底はもちろんのこと、時代の変化を的確にとらえ、市の抱える喫緊にして重要な諸課題に対しては、前例にとらわれずに議論を重ね、市民の皆様と行政との「協働のまちづくり」を念頭に進めてまいりますので、本年も引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、新しい年が、市民の皆様にとりまして、健康で喜びと幸せに満ちあふれた1年となりますことを心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

行政と市民との協働による

まちづくりを

天草市議会議長

本田 武志

明けましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新春を健やかに迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

さて、世界は情報化の進展により、グローバル化の一途にあります。わが国は本格的な人口減少社会を迎える中、少子高齢化も相まって、人と人との絆が絶たれる「無縁化」が新たな問題となっております。このような中、昨年3月に、東日本大震災が発生しました。多くの尊い命、財産を奪うたいへん痛ましい



災害ではありましたが、この震災を機に、助け合いの精神や他人を思って行動するといった「思いやりの心」が、全国的な広がりを見せました。ここ天草市においても、長引く不況を始め、人口減少、少子高齢化など、問題は国以上に深刻化し、地域コミュニティの崩壊が危惧されているところがございますが、天草の地には、代々受け継がれはぐくまれてきた、豊かな人情、地域の固い絆がございます。今後は、地域における支え合いを充実させるためにも、市民相互が確かな絆を結び、また、市民と行政が確かな信頼関係を築き、共に力を合わせ、行政と市民との協働によるまちづくりをさらに推進していかなければなりません。市議会といたしましても、天草市を住みよい社会にするため、今何をすべきか、何が必要なのか、常に問題意識をもって、誠心誠意、全力を傾注する覚悟でございます。今後ともさらなるご理解とご支援のほどをお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

栖本町・白戸漁港からの眺望 (12月12日撮影)



市民の皆様
あけまして
おめでとうございます

天草市
市長 安田 公寛
副市長 古田 勝人
天草市議会議長 本田 武志
副議長 松江 雅輝

議員
池田 次人
北野 鋼一
濱崎 昭臣
江浦 政巳
吉川 徳澄
大塚 基生
楠本 千秋
中村 五木
平山 泰司
脇島 義純
池田 裕之
田中 茂
赤木 武男
鎗光 秀孝
中村 三千人
船辺 修
蓮池 良正
若山 敬介
勝木 幸生
宮下 幸一郎
中尾 友二
古賀源一郎
浜崎 義昭
黒田 忠広
奈良崎 利幸
福嶋 啓子
濱洲 大心
鶴戸 継啓



松本ヒロコさん
(志柿町)

昭和3年
生まれ

私には、かけがえのない“友”がいます。今年も、この“友”と楽しく触れ合いながら、幸せな日々が過ごせたらと思っています。

「笑いは力なり」。笑顔のたえない家庭、笑いが満ちている職場、笑いがあふれる日本、笑いが満ちあふれている世界、そんな1年でありたい。



川田安幸さん
(有明町上津浦)

昭和51年
生まれ

昭和15年
生まれ

宮崎員美さん
(五和町御領)



70数年の歳月は、紆余曲折でした。皆さんに支えられて今があり、日々感謝して過ごしています。今年も、平穏な年であることを願っています。

ぼくは、4月から6年生になるので、下田北小学校を引っばって強く頼もしいリーダーになりたいと思います。

高見京平さん
(天草町下田北)

平成12年
生まれ



梅川輝信さん
(倉岳町宮田)

昭和39年
生まれ

ご先祖・親・家族があってこそ自分なので、今年も“家族”を大切に、何でもマイペースで乗りきっていきます。

たつ 年生まれ 大集合! 辰 新年の抱負

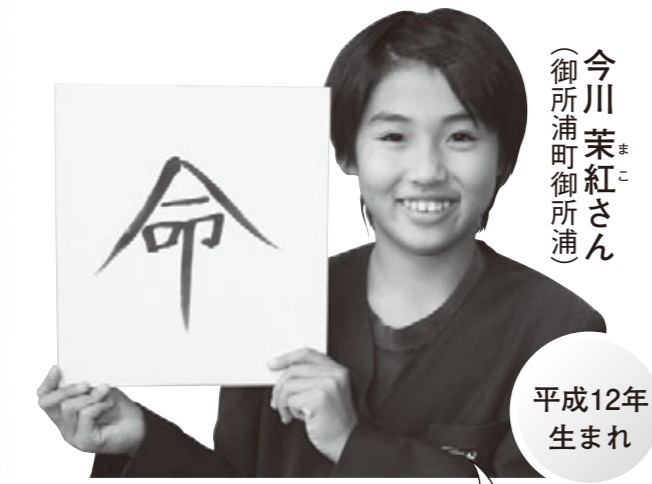
新しい1年が幕を明けました。皆さんは、今年1年をどんな年にしたいと思いますか。

そこで今号では、新春企画として今年の干支である辰年生まれの年男・年女の皆さんに、新年の抱負を語っていただきました。

昨年の秋から、夫と2人して夕食後にウォーキングを始めました。お互いにいたわりあいながら、健康の維持ができる1年になるようにがんばります。

大西里佳さん
(河浦町崎津)

昭和39年
生まれ



今川茉紅さん
(御所浦町御所浦)

平成12年
生まれ

お母さんからもらった命だから、これからも大切にしていきたいです。また、6年生になるので、部活動を一生懸命にがんばりたいです。

すし屋を営んで24年目を迎えます。将来の夢は息子といっしょに厨房に立つこと!! 体が続く限り、仕事を続けていきたいと思っています。



金田邦親さん
(栖本町古江)

昭和27年
生まれ

昭和63年
生まれ

中村ひとみさん
(新和町小宮地)



今まで多くの皆さんの笑顔から、元気をもらってきました。これからは、私の笑顔で周りを元気にできるような人間になりたいです。

皆様のおかげで、7回目の年男を迎えることができ、何よりも感謝の気持ちでいっぱいです。これからも、その気持ちを忘れずに過ごしていきたいです。

江崎健二郎さん
(牛深町)

昭和3年
生まれ



県内初!

牛深港が「みなとオアシス」に!

牛深港を核とする同港の周辺地域が11月25日、「みなとオアシス天草牛深」として国土交通省・九州地方整備局の「みなとオアシス」に認定・登録されました。九州では8番目、県内では初の認定・登録となります。
そこで今号では、「みなとオアシス」の概要や今後の取り組みについてお知らせします。

「みなとオアシス」って何?

「みなとオアシス」とは、「みなと」の施設やスペースを活用しながら、地域住民が中心となってにぎわいのある観光・交流の拠点を創出し、地域活性化を行うことを目的に設けられた制度で、国土交通省の地方整備局が認定・登録するものです。全国で69港が登録さ

れており、九州では大分県の大分港や別府港、鹿児島県の鹿児島港などがあります。

「みなとオアシス」になったらどうなるの?

「みなとオアシス」に登録されると、国土交通省から次のような支援が受けられます。

- みなとオアシスのシンボルマーク（右下参照）の使用
- 国土交通省や地方整備局などのホームページによる広報
- 道路地図への掲載や道路標識設置の支援

今後の取り組み

今後は、牛深地域内の商工団体やまちづくり組織など18の団体で構成する「牛深みなとまちづくり協議会（会長 益田政昭・牛深商工会議所会頭 ほか委員17人）」が主体となり、市と連携を図りながら、牛深ハイヤ祭りや牛深あかね市など既存のイベントのサポート活動をはじめ、みなとまちの魅力づくり・にぎわいづくりに向けた事業など、「みなとまちづくり」に向けた取り組みを行います。

※「みなとオアシス天草牛深」に関する詳しいことは、本庁（別館）・河川港湾課河川港湾係 ☎1111 内線2606へお尋ねください。

12月3日に登録証を交付



12月3日、牛深あかね市の開会式典で登録証の交付式が行われ、鈴木弘之・国土交通省九州地方整備局・港湾空港部長(左)から、安田市長に登録証が手渡されました。

潮風薫る天草路を力走! 天草マラソン大会

11月27日、「東日本大震災復興支援 第6回天草マラソン大会」が本渡運動公園陸上競技場前（ハーフはゴルフ練習場横）をスタート・同競技場をフィニッシュとするコースで開催されました。大会には、フルマラソン（日本陸上競技連盟公認コース）とハーフマラソンに、県内外から過去最多となる2,701人（フルマラソン1,298人・ハーフマラソン1,403人）が参加。選手たちは、海沿いの自然あふれる天草ならではのコースを肌で感じながら、力走していました。

そして、今回はスペシャルゲストとして、シドニーオリンピック・女子マラソン金メダリストの高橋尚子さんが参加。開会式で「選手の皆さん1人ひとりとハイタッチをしたいと思います」と話し、おなじみの「Qちゃんスマイル」を見せると選手や観客からは大きな歓声が上がっていました。

このほか、フィニッシュ地点の同競技場では、地元の特産品がずらりと並んだ物産販売なども行われ、多くの来場者でにぎわいました。

なお、大会結果は次のとおりです。

- 大会結果（1位のみ。敬称略）…フルマラソン男子・森本幸司（熊本市）、同女子・江崎由佳（福岡県）、ハーフマラソン男子・西村直哉（宇城市）、同女子・一村多美代（球磨郡相良村）



▲全力疾走でゴールテープを切る選手



▲ボランティアスタッフが大会をサポート



▲笑顔を見せる高橋さん



▲高橋さんにタッチを求める選手たち



沿道からは盛んな声援



遠見山から見た牛深港と周辺のまち並み



△シンボルマーク

宝島の

わだいの



▲“千人キャンドル”のようす



▶キャンドルを手にする参加者たち



◀御所浦物産館「しおさい館」周辺



◀リップルランド下の「五多幸広場」

あまくさロマンティックファンタジーを開催中

幻想的な光の島“天草”へ

天草キリシタン館をメイン会場に、天草各地域をイルミネーション（電飾）やライトアップで彩る、「天草海道博スペシャルイベント あまくさロマンティックファンタジー」が開催中です。

12月3日には、オープニングイベントが同館一帯で開かれ、城山公園の登り口から同館までの道のりを、参加者がキャンドルを手に行列を行う“千人キャンドル”のほか、来春結婚を予定している2組のカップルによる点灯式や、九州大学のアカペラサークルなどによるコンサートを実施。この日はあいにくの雨となりましたが、会場には約1,300人が訪れ、雰囲気たっぷりの歌や演奏に耳を傾けながら、闇夜に浮かび上がるキャンドルの明かりを楽しんでいました。*アカペラ=無伴奏の合唱。

なお、各施設の点灯期間・時間については、下表のとおりです。詳細は、あまくさロマンティックファンタジー実行委員会事務局（㈱天草宝島観光協会内）☎@2243へお尋ねください。

◆天草各地域のイルミネーション・ライトアップの場所と日時

場 所	日 時	場 所	日 時
大江天主堂(天草町大江)	1月6日(金)まで 18:00~21:00	御所浦物産館「しおさい館」周辺 (御所浦町御所浦)	1月15日(日)まで 18:00~24:00
下田温泉足湯公園(天草町下田北)	1月6日(金)まで 18:00~22:00	天草キリシタン館(船之尾町)	2月26日(日)まで 18:00~21:00
崎津天主堂(河浦町崎津)	1月7日(土)まで 18:00~22:00	牛深ハイヤ大橋周辺(牛深町)	2月29日(水)まで 日没~21:00
通詞大橋(五和町二江)	1月7日(土)まで 18:00~22:00	天草四郎メモリアルホール 大矢野公民館(上天草市大矢野町)	3月10日(日)まで 17:00~24:00
天草慈恵病院(天草郡苓北町)	1月上旬まで 17:30~21:00	リップルランド下の「五多幸広場」 (有明町上津浦)	3月25日(日)まで 日没~22:00

ふるさと応援寄附金

たくさんの応援をいただきました

●寄附の状況をお知らせします

「天草市ふるさと応援寄附金」は平成20年6月に始まり、同事業への取り組みに対するご理解とご協力により、多くの応援をいただくことができました。平成23年4月1日から同年11月30日までに寄せられた寄附金は、全国各地から57人(61件)・409万5,500円の寄附をいただいています(詳細は右表をご覧ください)。寄附をいただきました皆さんはもとより、応援寄附金のPRをしていただいた市民の皆さんに心から感謝申し上げます。

●引き続き“天草ファン”募集中!

天草市は、藍より青い海や緑深い山々など豊かな自然に恵まれており、市民が安心して快適に生活できる環境づくりや産業の振興と地域間交流を図りながら、地域資源をいかしたまちづくりに取り組んでいます。

これからも、『日本の宝島“天草”』づくりへの支援として、全国各地でご活躍の皆さんからの「天草市ふるさと応援寄附金」へのご協力を引き続きお願いします。また、市民の皆さんには、この取り組みをより多くの人に知ってもらうために、市外にお住まいの親類や知人の皆さんなどへのPRにご協力をお願いします。

寄附の手続きについては、事前の申し込みが必要です。申込書は、直接電話で本庁・財政課へ請求していただくか、市のホームページから取得していただくことになります。

◆メニュー別の寄附件数と金額

- 1 “天草の宝”『地域コミュニティづくり』
・10のまちづくり協議会と51地区振興会への支援・補助……………44件・361万9,000円
- 2 “天草の宝”『安心して元気に暮らせる環境づくり』
・高齢者などの体力・健康づくり事業や、安心して子どもを生み育てる環境づくり事業など……………5件・19万3,000円
- 3 “天草の宝”『将来を担う子どもづくり』
・少人数学級の推進や特別支援学級への補助教員の設置事業、学校図書館の活性化事業など……………2件・6万1,000円
- 4 “天草の宝”『若者が安心して働ける産業づくり』
・企業誘致促進事業や担い手育成支援事業など……………3件・2万2,500円
- 5 “天草の宝”『拠点づくり』
・市役所本庁舎の建設事業(平成27年度をめぐりに建設を予定)……………1件・1万円
- 6 市長おまかせコース
・特に事業の指定がない場合は、市長が必要と認める事業に活用……………6件・19万円

◆地方別の寄附人数と金額

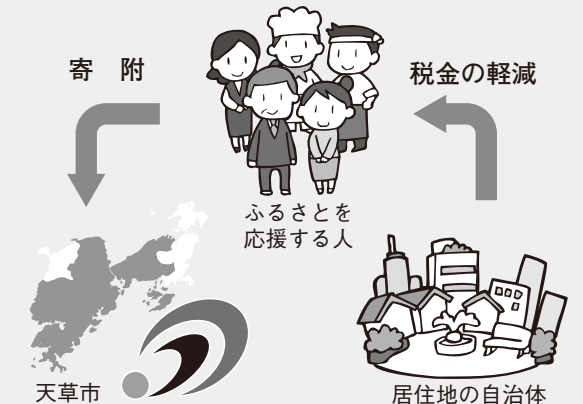
地 方 名	人 数	金 額
関 東	23人	203万7,000円
中 部	4人	7万2,500円
近 畿	20人	52万6,000円
四 国	1人	1万円
九州(熊本県内を除く)	3人	113万円
熊本県内	6人	32万円

一回目 ふるさと納税制度とは

ふるさと納税制度とは、「ふるさとを応援したい」「ふるさとの発展に貢献したい」と思われる皆さんが、出身地などの地方自治体(都道府県・市区町村)に寄附をした場合に、寄附金の2,000円を超える部分について、居住地の住民税(所得割)のおおむね1割を限度に、所得税と翌年度に課税される住民税から税額控除されるものです(右イメージ参照)。

なお、法人が寄附をした場合は、法人税を算定される際に、寄附金の全額を損金に算入できます。

◆ふるさと納税制度のイメージ



【問い合わせ先】本庁・財政課財政係 ☎@1111内線1363

わだいの



▶曲に合わせて歌う参加者



浦地区さわやか学級 倉岳

懐かしの名曲をアコーディオンにのせて

11月21日、浦公民館でふれあい・いきいきサロンとの同時開催で「浦地区さわやか学級」が行われ、地区内の高齢者や民生委員児童委員など40人が参加しました。これは、同公民館が開催しているもの。同学級では、アコーディオン奏者の森繁美氏（上天草市龍ヶ岳町）が、“荒城の月”や“みかんの花咲く丘”など、明治・昭和期の懐かしいメロディー30曲を披露し、参加者も演奏に合わせて合唱を楽しみました。

その後、市食生活改善推進員が用意した豚汁、酢の物などの昼食を堪能。参加者は、「えらいよかった～」と大喜びでした。



◀アコーディオンを演奏する 森繁美氏

町内の保育園児が牛のお世話を体験 有明

牛さんのお世話でモ一大興奮！

11月16日から同21日まで、町内の保育園児49人が畜産農家を訪れ、牛のお世話を体験しました。これは、同26・27日に開かれた「有明うまかもん収穫祭」のイベントの一環として行われたもの。期間中、園児たちは、最初は恐るおそる遠巻きに牛を見ていましたが、しだいに慣れてくると干し草を食べさせたり、子牛の頭をなでたりして触れ合っていました。

体験を終えた園児たちは、「保育園に帰ったら早く牛さんの絵を書きたい」と笑顔で話していました。



▲牛に干し草を食べさせる園児たち



▲正しい横断方法を実践する子どもたち

新合地区交通安全推進大会 河浦

交通安全意識の高揚を目ざして

11月20日、「新合地区交通安全推進大会」が新合小学校グラウンドで行われ、地区住民など約300人が参加しました。これは、住民の交通安全意識の高揚を目的に同地区振興会が開催したもの。大会では、警察などによる自動車の死角や内輪差の実験をはじめ、道路の横断方法や自転車の正しい乗り方の講習・実践などが行われ、参加者は熱心に取り組んでいました。

また、終了後は交通安全を祈願して駅伝大会が開かれ、道行く人たちに交通安全を呼びかけました。

『まぼろしの芹生柿』の干し柿作り 五和

地区の新たな特産品に向けて

手野地区では、11月下旬からまぼろしの柿“芹生柿”を使った干し柿作りを行っています。この柿は、平成20年度から手野まちづくり振興会が取り組んでいる「柿の郷づくり」の一環として、地元のコミュニティビジネス組織『芹生園』が同地区に1本だけ残るこの柿を増殖し、地区内に400本を栽培しているもの。今年は、色つやの良い大きな実が約400個収穫され、中には直径12cm、重さ500gを超えるものもありました。

同園の干し柿施設には、一つひとついいねにつるされた鮮やかなオレンジ色の柿が並び、正月ごろには濃厚な甘みを蓄えた干し柿ができ上がるとのこと。なお、できた干し柿は『芹生のべっぴんさん』という商品名で、今回は主に試食用として市内外に提供される予定です。



▲所狭しとつるされた干し柿。“芹生のべっぴんさん”へ



▲まるまると実った“芹生柿”



▲選果作業のようす

デコポンの出荷始まる 本渡

質・量ともに上々！

11月下旬から、天草特産のみかん“デコボン”の出荷が始まりました。デコポンは、熊本県果実連の商標で、不知火という品種のみかんのうち、甘さ、すっぱさの基準をクリアしたものをいいます。12月3日、本渡五和農協の選果場では、専用のセンサーを通過し大きさや品質ごとに選別されたデコポンを、作業員が慣れた手つきで箱につめていました。同農協の担当者は、「質・量ともに良いでき」と話していました。

なお、このデコポンは、贈答用として主に関東・関西方面へ出荷されています。

牛深あかね市・牛深海中公園マラソン大会 牛深

海と山の恵みがいっぱい

12月3・4日、牛深ハイヤ大橋横の芝生広場一帯で「第22回牛深あかね市」が開かれました。催しでは、恒例の“あかねタイ釣り大会”をはじめ、新鮮な魚介類や農産物がずらりと並んだ“いきいきマーケット”、ステージイベントなどが行われ、約27,000人の人出でにぎわいました。また、同4日には「牛深海中公園マラソン大会」も実施。牛深中学校をスタート・フィニッシュとする5・10kmコースに県内外から約700人が参加し、選手たちはさわやかな潮風を受けながら健脚を競っていました。



▲牛深ハイヤ大橋を走る選手たち

宮城県の柴田町長から感謝状

市民の救援物資への謝意

このほど、3月11日に発生した東日本大震災で被災した、宮城県柴田郡柴田町の滝口茂町長から感謝状が届きました。これは、同町にある仙台大学硬式野球部が上天草市でキャンプ中に地震が発生し、被災した地元へ帰るとき、野球部とつきあいのある本市のボランティア団体などが市民に呼びかけ救援物資を集め、同14日に被災地に向けて送り出したときのお礼で、ご支援いただいた市民の皆さんへの感謝の気持ちを、市に対して送られてきたものです。



▲柴田町長から送られてきた感謝状



▲慣れない手つきでピザ作りをする参加者

イクメン料理教室

目ざせ！イクメン！

11月20日、「イクメン料理教室」が本渡町本戸馬場の西の久保公園で開かれ、11人が参加しました。「イクメン」とは、育児をがんばる男性を指す造語で、市男女共同参画センターと子育てネットワークわ・わ・わが、料理を通して子育て中の父親などの交流を目的に開催したものです。この日は、市内在住でパン作りなどを行っている穀粒家の池田朋子さんを講師に迎え、ピザ作り挑戦。参加者は、「楽しむことができました」と笑顔で話していました。

韓国・忠清大学の学生によるインターンシップ

天草の人・文化に触れながら学ぶ

市と文化交流などに関する協定を結んでいる韓国・忠清大学の学生2人が9月5日から12月25日まで、市内に滞在しインターンシップ（現場実習）を行いました。実習のため市を訪れたのは、同大学の日本語通訳科で学ぶ慶演圭さんと宋順根さん。期間中は、市役所や図書館の事務補助のほか、それぞれが希望したホテルや観光団体で実習を行いました。2人は、「天草は人も優しくとてもいい所。ずっと暮らしたいくらいです」と笑顔で話していました。



▲天草の観光パンフレットを並べる作業を行う慶さん（左）と宋さん（右）

天草市くらしの便利帳を発行

くらしに役立つ情報満載！

11月28日、市では、行政情報のほか地域の歴史や観光情報、名産・特産品、さらには医療機関等の各種の地域情報などを掲載した「天草市くらしの便利帳」を発行し、市内の各世帯に配布しました。平成18年の合併時に発行した同便利帳の改訂版で、発行にあたっては、市の財政負担を伴わずに、住民サービスの向上、地域の活性化につながるような行政情報の発信を模索し、今回、初めて(株)サイネックス社との官民協働事業による手法に取り組みました。



各種情報を満載したくらしの便利帳

新和小学校持久走大会&収穫祭

新和

寒さに負けず健脚を競う

12月4日、「新和小学校持久走大会&収穫祭」が行われました。持久走には、児童126人が同校をスタート・フィニッシュとする1.5km(1・2年)、2km(3・4年)、3km(5・6年)のコースに分かれて参加。肌寒い天気の中、沿道からの声援を受け健脚を競っていました。その後、収穫祭と銘打ち5年生を中心に栽培・収穫したもち米で、保護者も参加してもちつきを実施。児童たちは、疲れも見せず臼と杵を使って元気いっぱいにもちをついていました。



▲いっせいにスタートする1・2年生の児童



▲えびす様を見学する学生たち

御所浦フィールドワーク

御所浦

大学生が島の人々と触れあう

12月3・4日、熊本学園大学社会福祉学部の学生88人が、1泊2日の現地研修「御所浦フィールドワーク」を行いました。これは同大学が、島で暮らしている人たちの生活に触れ、社会福祉の現状・課題などを学ぼうと毎年実施しているもの。研修では、住民から島での暮らしについて話を聞いたほか、横浦島では漁師の家々の軒先に祭られているえびす様巡りを実施。それぞれに違う表情を見せるえびす様に、「とてもおもしろい」と笑顔で話していました。

下田南地区文化祭

天草

農産物・芸術作品が勢ぞろい！

11月27日、「第19回下田南地区文化祭」が下田南公民館で開かれました。これは、同地区振興会が毎年開催しているもの。会場には、地元住民による野菜や漬物などの農産物、書や絵画などが展示され、スライドショーやもちつき大会、バザーなども行われました。また、呼び物となっている農産物の即売会では、金賞を受賞したウチュウイモや漬物、銀賞のにんじんや白菜などが競りにかけられると、威勢の良い掛け声が飛び交い、にぎわいを見せていました。



▲農産物の即売会のようす

家族介護教室

栖本

適切な知識と技術を習得しよう

12月5日、「家族介護教室」が栖本福祉会館で行われ、家族の介護をしている人や民生委員など30人が参加しました。これは、市社会福祉協議会・栖本支所が、介護に関して適切な知識と技術を習得してもらおうと、毎年実施しているもの。同教室では、福祉用具プランナーを講師に招いて、介護保険制度のしくみや福祉用具の貸与について講義を実施。手押し車などを用いて実例を交えながら話され、参加者は熱心に聞き入っていました。



▲手押し車の使用方法を熱心に聞く参加者

古き良き伝統をいつまでも

天草高校倉岳校（倉岳町）
2年 鶴戸智公^{ともき}

天草高校倉岳校の剣道部は、例年福岡市で行われる玉竜旗高校剣道大会で、平成21年度は4回戦まで進出しました。また、今年度の天草地区高等学校体育大会でも女子が団体で優勝、個人戦は男女とも3位に入賞するなど、例年好成績を収めています。本校剣道部の特色は、地元の小学生と中学生、そして私たちが一堂に集まり練習を行っていることです。このことで互いの連帯感を強め、技術の向上につなげています。私たちは、この倉岳校剣道部の良き伝統をいつまでも続けられるように、毎日夜遅くまで練習に励んでいます。剣道をしている中学生は、ぜひ本校剣道部への入部の検討をよろしくお願いします。



各大会の賞状を手にする剣道部の皆さん

ぼくのわたしの学校部活自慢



『天草一』の学校を自慢して

河浦中学校（河浦町）
3年 石田真子^{まこ}

本校の生徒会では、『考動～天草一と思える、誇れる学校を～』をスローガンに、特に行事や部活動に力を入れています。先日行われた文化発表会では、各クラスが団結し、参観の皆さんに感動を届けることができました。また、部活動では毎月、生活・技術面の目標をたて、あいさつや規律を身につけた河中生を自慢しています。そして、朝自習では学習クラスマッチがあります。事前学習した分は努力点として加算され、がんばれば全員が合格できるので、励まし合いながら取り組んでいます。これからも、一人ひとりが輝き、夢の実現に向け何事にも精いっぱいがんばる、『天草一』の学校を自慢していきたいです。

天草町の大江地区は、山と海に囲まれた人口約1,100人の小さな地区です。大江地域づくり振興会では、みんな元気な大江（さと）づくりをスローガンに、さまざまな活動を実施しています。中でも、特産の馬鈴薯（ばいれいしょ）をPRしようと実行委員会を組織して毎年5月に開催している「ジャガジャガ祭」は、市内外から多くの人が訪れ、特にメインのジャガイモ掘り取り体験には長蛇の列ができるなど、にぎわいを見せます。また、冬になると、天草口ザリオ館周辺を色とりどりのイルミネーション（電飾）で彩り、訪れた人たちの目を楽しませていきます。このほか、平成22年度からは、できることからやってみようと、新



▲竹に七夕の飾り付けをする部会員

地域づくり
コーナー

住んでよかったと思える地区を自慢して

大江地域づくり振興会（会長 桑田正造）

人が動く
地域が動く
天草が動く

天草町の大江地区は、山と海に囲まれた人口約1,100人の小さな地区です。大江地域づくり振興会では、みんな元気な大江（さと）づくりをスローガンに、さまざまな活動を実施しています。中でも、特産の馬鈴薯（ばいれいしょ）をPRしようと実行委員会を組織して毎年5月に開催している「ジャガジャガ祭」は、市内外から多くの人が訪れ、特にメインのジャガイモ掘り取り体験には長蛇の列ができるなど、にぎわいを見せます。また、冬になると、天草口ザリオ館周辺を色とりどりのイルミネーション（電飾）で彩り、訪れた人たちの目を楽しませていきます。このほか、平成22年度からは、できることからやってみようと、新

な取り組みとして七夕の時期にあわせて地区内の沿道に七夕飾りを設置。このようなことが、昔ながらの風景や伝統行事の大切さを見直すきっかけになっています。これからも、大江にある資源をいかしながら、住民どうしの絆を深め、住んでよかったと思える地区を自慢して、活動していきたいと思

宝島の健康
よさげ屋

古賀滋子^{しげこ}さん
(天草町下田北・87歳)



◆毎日の楽しみは？

茶道や読書のほか、手紙を書いたり、人とおしゃべりしたりすることが楽しみです。毎週木曜日は、コーラスグループの練習にも参加していて、内にもらず外での刺激を毎日の活力にしています。

◆健康の秘けつは？

筋力トレーニングなどの運動を、毎日欠かさずしています。料理も好きで、自家製野菜を使ったバランスの良い食事を心がけています。また、夫婦仲良く、何でも前向きに考えるようにしています。



稲田かおり^{かおり}さん（五和町御領・20歳）

高校を卒業後、地元就職して2年目になります。そして、今年成人式を迎えおとなの仲間入りをしました。これからは、今まで支えてもらった家族や友人、職場の皆さんなど出会った人たちに感謝し、1人のおとなとして自分の意思をしっかり持ってがんばりたいと思います。

マル・マル・モリ・モリみんな食べるよ！

浦和保育所（有明町）

浦和保育所（堀田桂子^{けいこ}所長・全園児51人）では、田園地帯の豊かな環境をいかして、野菜作りに挑戦しています。今年は玉ねぎやじゃがいもなどいろんな野菜を植え、給食室から出た生ごみを肥料にして栽培しました。収穫した野菜は、毎日の給食や子どもたちのクッキング活動に使用。同活動では、ほかにもお月見団子やハロウィンのクッキー作りなどを行いました。こうした取り組みを通して、子どもたちは自然の恵みに感謝する気持ちや、食べ物を大切にす

気持ちをはぐくみ、「マル・マル・モリ・モリ」みんな食べるようになっていきます。これからも、元気いっぱい感性豊かな子どもたちの育成を目指していきます。



クッキング活動でお月見団子を丸める子どもたち

このゆびとつまみ



クリスマスおゆうぎ会のようす

子どもたちの明るい将来のために

箱ノ水保育園（本渡町本戸馬場）

箱ノ水保育園（津田博之^{ひろゆき}園長・全園児93人）は、「つよく・やさしく・たくましく」を園訓に、心身ともに健康で明るく元気な子どもに育てることを目指しています。特に、異年齢間の交流が多くアットホームな雰囲気の中で、思いやりの心を大切に過ごしています。少子化が進んでいくこれからの時代で、保育園の役割は健全な子どもの育成はもちろんのこと、保護者や地域との連携・支援など、いろんな事が求められると思います。「3つ子の魂百まで」という言葉の通り、0歳から就学前の各年代でさまざまな経験・体験をすることで、子どもたちの明るい将来のために、いつも笑顔で楽しい保育園でありたいと思います。



きら煌めく人たち

天草の冬の一大イベントに

馬場昭治さん(北原町・43歳)



北原町に住む馬場昭治さんは、現在開催中の「天草海道博スベシャルイベントあまぐさロマンティックファンタジー」を主催する、実行委員会の会長を務めている。この催しは、天草各地域の施設などをイルミネーション(電飾)やライトアップの明かりで彩り、「天草を光で結び、ひとつに」するというものだ。ふだんは、市内で鋼材を扱う会社などを経営。平成22年に「輝け天草」と銘打った光のイベントの企画・運営を行ったことがきっかけとなり、天草海道博を主催する市などが

らの要請を受け、「閉そく感が漂う中、天草をどうにかしたい」と会長に就任した。このような中、12月3日にはメイン会場である天草キリシタン館でオープニングイベントを開催。「初めての取り組みで、人が集まってくれるのかほんとうに不安だったが、多くの人たちがキャンドルを手に行列をする光景を見て、涙が出るほどうれしかった」と馬場さん。また、「今回、このイベントの趣旨に賛同し運営にご協力いただいた皆さんといっしょに、『天草をひとつに』という思いを分かち合うことができ、感謝の気持ちでいっぱいです」と笑顔を見せる。

今後は、2月に特別企画としてバレンタインデーイベントや、大学生によるアカペラ(無伴奏の合唱)コンサートを実施。「ぜひ、来場してほしい」と呼びかける。

「この催しが、ゆくゆくは多くの観光客が訪れる冬の一大イベントになれば」。天草を結ぶ光は、馬場さんの思いをのせた希望の光でもある。

新春特別企画

宝島クイズ

全問正解した人の中から抽選で40人に、すてきな景品をプレゼントします。皆さんのご応募をお待ちしています(応募は本市に住所がある人に限り、1人1通のみ)。

【問1】 昨年4月に「牛深ハイヤ祭り」が盛大に行われましたが、歴史を重ねて何回目になったでしょう?
①20回 ②30回 ③40回

【問2】 天草西海岸地域は、東シナ海に沈む美しい夕陽が見られることから、市では特に優れた何カ所を「天草夕陽●景」として決定したでしょう?
①八 ②七 ③六

【問3】 JRあまくさみすみ線に、昨年の10月から運行を開始した特急列車は「●列車で行こう」ですが、そのアルファベットは何でしょう?
①A ②B ③C

【問い合わせ先】 本庁・秘書課広報広聴係(内線1208)

- 景品=①大阪便往復航空券…1人②福岡便往復航空券…2人〔以上天草エアライン(株)提供〕③ポンカン5kg…5人〔JA本渡五和提供〕④デコボン5kg…2人⑤ポンカン5kg…3人〔JAあまくさ提供〕⑥五多幸すとらっぷ…5人〔天草ありあけ(株)提供〕⑦シモン芋製品セット…3人〔(株)くらたけ提供〕⑧へのかっぱストラップ…5人⑨かぼちゃパイ…3人〔(株)本まちづくり協議会提供〕⑩特産品詰め合わせ…3人〔市物産振興協会提供〕⑪Tシャツ…8人。

■応募方法=ハガキにクイズの答え(3問とも)、住所、氏名、年齢、電話番号、市政だより天草へのご意見・ご要望を記入し、1月13日(金)までに、〒863-8631(住所記載不要)天草市役所・秘書課へ郵送してください。なお、当選者は2月1日号の「市政だより天草」お知らせ版に掲載します。

ハッピー HAPPY BIRTHDAY パースデー

今日で1歳になりま〜す



小川 冬華 ちゃん
牛深町
父・兆高さん
母・尚子さん

いつまでも笑顔を大切に、すくすく育ててね♪



木戸 慎之佑 くん
新和町大多尾
父・正光さん
母・奈津美さん

明るく元気に育ってみんなに笑顔をふりまいてください。



堤内 陽 ちゃん
山の手町
父・正樹さん
母・里奈さん

本渡、五和のじいちゃん、ばあちゃんいつもありがとね!



立石 翔大 くん
北浜町
父・寛さん
母・ひとみさん

わが家のかわいいプリンス♡モモとなかよく遊ぼうね!!



根岸 太陽 くん
河浦町崎津
父・翼さん
母・沙織さん

元気いっぱい! 気合いのねじりはちまき♡須口のみんな大好きだよ☆



佐藤 佑飛 くん
八幡町
父・正樹さん
母・知寿子さん

優衣姉ちゃん、いつも遊んでくれてありがとう♪



岩崎 彩空 ちゃん
牛深町
父・大地さん
母・朱里さん

こあ姉ちゃん、これからも仲良くたくさん遊んでね!!



早見 心陽 くん
大浜町
父・博之さん
母・直美さん

まー兄ちゃん大好き♡たくさん遊んでね!!



薮野 結愛 ちゃん
杵宇土町
父・真一さん
母・さやかさん

まさき兄ちゃん、じいちゃん、ばあちゃん大好き♡いっぱい遊んでね!!

2月で満1歳になるお子さんを募集します!
●応募期限=1月10日(金)まで(必着)。
●応募方法=写真裏にお子さんの住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、コメント(30字以内)、保護者名(父・母)を記入し、〒

863-8631(住所記載不要)天草市役所秘書課へ郵送または持参してください。なお、写真はお子さんが大きく、鮮明に写っているものをお願いします。また、写真の掲載は9人まで(応募者多数の場合は抽選)とし、応募写真は返却しません。

読者のつぶやき



寒いこの時期の通勤には「マフラー」が欠かせません。マフラーと言えば、幼少のころ「仮面ライダー」ごっこをよくしていました。ショッカーになったり仮面ライダーになったり、あのころを思い出して『変身・トゥー』とやってもやっぱり若返りません。
ペンネーム：仮面50ダー

先日、車で走行していたときのできごと。ふと畑の梅の木を見ると、枝にびっしりとすずめがとまっていた。何気ないことなのかもしれませんが、枝という枝にあまりにもびっしりととまっていたので、おたよりしました。



ペンネーム：すずめの学校

皆さんからのお便りを募集しています!

身近であったできごとや、季節に思いをはせることなど、100字程度(応募者多数の場合は選考)。※表記などを統一するため、趣旨を変えずに文章を直すことがあります。

▶応募期限=1月10日(金)まで(必着)。
▶応募方法=寄稿文をまとめたものに、ペンネームと住所、氏名、電話番号を記入し、天草市役所秘書課へ提出してください。

【郵送・持参】
〒863-8631 市内東浜町8-1(郵送の場合は住所記載不要)
天草市役所・秘書課広報広聴係
【電子メール】
hisuyoka@city.amakusa.lg.jp

かんたん おいしい

ささっとしんせ

～じゃがいものきんぴら風煮～



いろんな食材が豊富に入っていますので、食卓に1品添えることでバランスの良い食事になります。ぜひ、お試しください。

●材料・分量（約4人分）

じゃがいも …… 200g	糸こんにゃく …… 80g
にんじん …… 60g	油 …… 小さじ2
ごぼう …… 60g	みりん …… 大さじ2
ひじき（乾）…… 8g	薄口しょうゆ …… 大さじ1

●作り方

- ①じゃがいも、にんじん、ごぼうは千切りにする。
- ②ひじきは水でもどしておく。
- ③糸こんにゃくは、湯通しをして5cm位に切っておく。
- ④鍋に油を熱し、ごぼう、にんじん、じゃがいも、ひじき、糸こんにゃくの順にいため、ひと煮立ちしたら、みりと薄口しょうゆを加える。
- ⑤材料に歯ごたえが残るくらいで、火からおろす。

提供：市食生活改善推進員協議会



恐竜の島まるごと博物館

天草御所浦ジオパーク



平成9年5月に、九州で初めて恐竜の足跡の化石が発見された場所が、無人島の弁天島です。この島には、約9,800万年前に河川にたい積した地層が見られ、恐竜が当時、川のほとりを歩いたこん跡が偶然に化石になりました。足跡の化石の大きさは38cmで、約5m前後の肉食恐竜のものと考えられます。現在、実物は波の浸食から保護するため発掘し、御所浦白亜紀資料館で展示しています。

一方、化石の発見場所には、この足跡の化石を型取りした複製を設置（＝写真）しており、御所浦ジオツーリズムガイドと巡る「恐竜の島一周クルージングコース」で見学することができます。

弁天島で発見された恐竜の足跡の化石



▲化石の発見場所と足跡の化石の複製

【問い合わせ先】 御所浦白亜紀資料館 ☎07-2325

新年おめでとうござい
ます。1月1日号の恒例となっ
ている『宝島クイズ』（17ペー
ジに掲載）。毎回多くのご応
募をいただいています。今回
も、各事業所・団体の皆さん
から提供いただいた豪華な景
品がずらり。今年1年を占う
運だめしのひとつとして、ど
しどしご応募ください！【素

あけましておめでとうござ
います。今年はどうな年にし
たいかわくわくしながら、
新年の抱負を決めました。内
容は内緒ですが、1年の最後
に笑っていられるように、何
事にもプラス思考でチャレン
ジして行こうと思います。「今
年も「市政だより天草」をよ
ろしく願います。【海

謹賀新年。今年はずいに1
00の半分の大台に乗りま
す。ただ、気持ちは30歳前後
のままですが、脳みそと体力
はうそを言いません。「何や
ったきゃ〜」「こまじ出と
ったばってん」ということが
あります。また、「こんくりや
何のこたなか」と思っても膝
は打ちこくるさまです。【凡

